

「ランピースキン病」

～国内への侵入リスクが高まっています～

ランピースキン病はランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病です。2019年以降、アジアでも感染が拡大しており、昨年10月には韓国でも発生が確認されています。

- 感染動物: 牛、水牛
- 感染経路: 感染牛の移動
蚊、サシバエ、マダニ等吸血昆虫による機械的伝播
ウイルスに汚染された水、飼料など
- 症状: 全身の皮膚の結節、水腫、発熱、泌乳量の減少など
死亡率は低いが、生産性に影響を及ぼす。



写真提供: モンゴル国中央獣医学研究所

近隣諸国における発生状況

- | | | |
|-----|---------------|-----------------|
| ●中国 | 初発生: 2019年8月 | 直近の発生: 2020年 |
| ●台湾 | 初発生: 2020年7月 | 直近の発生: 2021年 |
| ●韓国 | 初発生: 2023年10月 | 直近の発生: 2023年11月 |

家畜の異常を発見した場合には当所にご相談下さい

京都府南丹家畜保健衛生所

TEL: 0771-42-3308 (夜間・休日も転送機能で連絡可能) FAX: 0771-42-5117